

課題名	130 外国産肉用牛の肥育性能調査	分類	②
	外国産肉用牛の肥育性能と市場評価		
試験研究年次	62～1年(完了)		
<p>I 目的 肥育牛農家における外国産肉用牛の飼養実態と食肉市場での枝肉評価を調査し、今後の外国産肉用牛の肥育技術指導に役立てる。</p>			
<p>II 試験方法</p> <p>1 調査場所</p> <p>(1) 飼養実態調査：筑紫野市M農家(外国産牛21頭、乳用種去勢牛117頭、褐毛和牛12頭、黒毛和種4頭の計154頭飼養。外国産牛は飼養牛の14%を構成。全頭農協の預託。平成元年10月現在)</p> <p>(2) 市場調査：福岡食肉市場</p> <p>2 調査期間：昭和62年7月～平成元年10月</p> <p>3 調査方法：現地聞き取り調査及び市場調査</p> <p>4 調査項目</p> <p>(1) 飼養実態：外国産牛(ヘレフォード、マリーグレイ、マリーグレイ雑種)、乳用種去勢牛及び褐毛和種の肥育成績、枝肉成績</p> <p>(2) 市場評価：外国産牛(アパディーアンガス、ヘレフォード、マリーグレイ)、国産F₁牛の枝肉規格</p>			
<p>III 主要成果の概要</p> <p>1 飼養の実態</p> <p>(1) 飼料給与：従来の濃厚飼料多給肥育による18カ月齢で体重635kg前後の仕上げでは厚脂となるので、現在は、前期粗飼料多給肥育に切替えて、前期の増体を抑えて、20カ月齢で体重720kg程度で出荷し、肉質の改善及び増体の確保を図っている。</p> <p>(2) 肥育成績：外国産牛は、1日当たり増体量が乳用種と同程度の1.0～1.1kg前後と良かった。</p> <p>(3) 枝肉成績：枝肉歩留は乳用種と比べて約5%高かった。ロース芯面積は乳用種と同程度であった。皮下脂肪はかなり厚いものが多かった。</p> <p>(4) 経済性：外国産牛は、調査期間中の素牛価格が県内産牛と比べて約9万円安く、1日当たり増加額〔枝肉販売収入-素牛価格〕/肥育日数が乳用種の約1.8倍と高かった。このため、今後とも導入の希望が強い。</p> <p>2 市場の評価</p> <p>(1) 枝肉規格：福岡食肉市場の63年4～12月における外国産牛258頭の枝肉規格は、B-2が70～80%を占めており、乳用種と比べて下位に格付けされている。</p> <p>(2) 肉質3等級の割合：肉質等級「3等級」のものは、調査期間中で全体の約10%である。</p> <p>以上のことから、外国産肉用牛は、増体が乳用種並に良いが、肉質が1ランク下のものが多いのが実態である。しかし、今後、肉質3等級以上の良質牛肉の増加が予想されるので、国産肉用牛の肉質向上が急がれる。</p>			

IV 主要成果の具体的数字

第1表 飼養農家における外国産肉用牛の肥育成績

品 種	頭数 (頭)	導 入		出 荷		肥育 日数 (日)	日増 体量 (kg)	日増 価額 (円)
		体重 (kg)	価格 (円)	体重 (kg)	価格 (円)			
乳用去勢牛	12	280	260,636	678	480,809	378	1.055	582
褐毛和種	5	319	391,757	691	696,157	387	0.967	787
ハレフォード	13	280	172,650	623	487,717	335	1.025	912
マーグレイ	16	286	172,650	627	503,571	329	1.030	989
マーグレイ雑種	4	292	172,650	655	500,469	336	1.086	982

注) 素牛導入：昭62年12月～昭63年 1月

第2表 飼養農家における外国産肉用牛の枝肉成績

品 種	枝 肉			ロース芯	ぼらの	皮下脂	BMS	BCS	BFS
	重量 (kg)	歩留 (%)	単価 (円)	面積 (cm ²)	厚さ (cm)	肪厚 (cm)			
乳用去勢牛	379	55.9	1,265	38.5	5.7	1.7	2.8	4.3	2.6
褐毛和種	416	60.2	1,638	47.4	6.7	2.1	3.8	3.8	2.4
ハレフォード	389	62.4	1,217	40.9	7.2	3.0	2.5	4.8	2.0
マーグレイ	383	61.1	1,240	38.8	7.3	3.4	3.1	4.0	2.0
マーグレイ雑種	395	60.3	1,215	38.8	7.5	3.5	3.0	4.0	2.8

注) ① 出荷：昭63年11月～昭64年 1月

② BMS (脂肪交雑) ……1: 脂肪交雑「0」～ 5: 「2+」以上

BCS (肉色)、BFS (脂肪色) ……1「劣る」～ 5「かなり良い」

第3表 外国産肉用牛及び国産F₁ 牛の枝肉規格 (市場調査)

品種 と 殺	枝 肉 格 付 頭 数 割 合 (%)									
	頭数	A2	A3	B1	B2	B3	B4	B5	C2	C3
※乳用去勢牛		0.4	0.4	0.6	39.6	36.2	3.1	0.1	9.6	7.4
ハレフォード	25				88.0	8.0			4.0	
マーグレイ	52		1.9	1.9	67.3	9.6			17.3	1.5
アングス	115	0.9	0.9	2.6	75.8	5.2			13.0	1.7
外牛	66	1.5			72.7	10.6			10.6	4.5
国産F ₁	90		1.1		15.6	45.6	24.4	4.4		

注) ① 調査期間：昭63年 4月～昭63年12月

② ※：全国平均

③ 外牛：品種不明の外国産肉用牛全般

V 成果の評価と取扱上の留意点

- 1 外国産牛肥育の技術指導の参考にする。

VI 今後の研究上の問題点

- 1 外国産肉用牛肥育技術の確立

VII 資料名